

# 目次

## 序論

1

## 第一章 立教開宗における教判論

### 第一節 聖浄二門判

#### 緒言

9

一 法然の回心とその意義―仏道の決判―

10

二 聖道とその大意

13

三 「唯有浄土一門」の開顕

16

四 横截五悪趣の文

20

#### 小結

23

### 第二節 師資相承論

#### 緒言

24

一 『興福寺奏状』における「立宗之法」と師資相承への論難

26

二 法然における師資相承論の展開

28

三 『選択集』における師資相承と善導の系譜

32

四 浄土五祖と「捨聖帰浄」の伝統

39

五 往生の先達と宗名―法然の浄土三部経観とその伝統―

45

#### 小結

53

### 第三節 法然の釈尊観

#### 緒言

55

一 貞慶の釈尊観と『悲華経』

56

二 『無量寿経釈』と『悲華経』

59

第二章	立教開宗における本願論	82
緒言		
第一節	衆生往生の行	83
一	仏道成就の課題と問題性	83
二	正行と雑行	87
三	専雑二修と往生の得否	94
四	廢立の義	97
第二節	選択本願の開示	100
一	弥陀の別願と釈迦・薬師の願	100
二	名号の選択―勝劣・難易の義を通して―	106
三	本願成就の一念	113
四	女人往生の願	116
小結		120
第三章	立教開宗における信心論	122
緒言		
第一節	三心論	123
一	法然以前の三心論概観	123
二	三心の「具足」について―行具の三心―	126
三	『悲華經』受容の視点	63
四	釈尊觀形成の背景―時機の問題を通して―	66
五	善導「付属の釈文」と「善導の意」	73
六	釈迦の選択―八選択―	76
小結		80

目次

〔註〕	149
〔参考文献・参考論文〕	148
結語	147
今後の課題	146
小結	142
三 三心総体について	139
第二節 往生の信心	136
一 深心積と正行の関係―就行立信について―	133
二 弥陀の「選択」における行者の信知	136
三 信に対する法然の視座とその背景	139
四 往生の信心―「浄土宗」成立根拠としての信―	142